

## 例言

- ・本書は、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が実施する多言語化事業の研究報告である。
- ・本書は、[I 論考] [II 事業報告] [III 実験] [IV 資料] の4部構成からなる。Iは文化財多言語化に関する書き下ろしの研究論考などを収録し、IIには2020年度に行われた「平城宮跡資料館 特別史跡平城宮跡に関する多言語解説情報発信強化事業」の内容と意義に関する報告を掲載した。IIIは、同事業で作成されたデータベースに関する報告である。IVは2021年度に奈文研において展開された多言語解説整備事業を遂行する際に作成された文化財用語対訳集になっている。
- ・表紙画像は「舞楽面 案摩」（国立博物館所蔵品統合検索システム [https://colbase.nich.go.jp/collection\\_items/tnm/C-1149?locale=ja](https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/C-1149?locale=ja)）を編集・加工したものである。
- ・本書に使用した写真・挿入図は、特に断りのない限り、奈良文化財研究所が著作権を有するものである。
- ・本書の編集は、奈良文化財研究所企画調整部文化財情報研究室多言語チームの協議の上、高田祐一の指導のもと、扨素妍が担当した。